

# 浜風

## 病院長新年のご挨拶



謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
本年も素晴らしい一年になりますよう病院職員一同、心からお祈りいたします。

昨年末はコロナウイルス感染症の他にも、季節性インフルエンザ感染症が猛威を振るうようになり学校等の休業措置も増加していました。自分自身や大切な家族・知人を守るためにも、基本的な手洗いやマスク着用などの感染症対策を常日頃からお願いしたいと思います。

新春から暗い話題で申し訳ありませんが、令和6年度の県立病院全体での経常損益は過去最大の赤字となる見通しであることは今年のニュースで皆様ご存じのことと思います。昨年はコロナ禍を経て医療体制を通常診療に戻っていた時期でした。赤字の主な原因として、病床数の多い基幹病院を中心とした患者数減少や人事委員会勧告を踏まえた給与改定に伴った給与費の増加や物価高による費用の増加など、収入の減少と大幅な支出の増加が上げられます。このほかに診療報酬改定など国の政策も関与していると考えられます。

岩手県民の命を守る公的病院である県立病院をこれからも維持していくことが大切であると考えます。今後も県民の皆様へ安定した医療を提供していくためには、患者数の減少を踏まえた病床数の適正化や人件費・施設整備費などのコスト削減を図るような自助努力が必要です。また、それぞれの病院の特徴を生かした機能分化・集約や行政など多方面との連携を強化しながら、人口減少や高齢化にも対応できる良質な医療が提供できるよう地域に密着した医療DXなどを推進していくことが重要と考えます。

現在、当院では令和7年4月から地域包括ケア病床を導入する予定です。この病床は一般病床より入院日数を長めに設定できるため、患者さんには余裕を持った期間で在宅復帰の準備ができる、以前よりも柔軟に退院先調整ができるなどのメリットがあります。何よりも地域の包括ケアの一翼を担うことにより、今まで以上に山田地域の医療に貢献できるようになります。

当院としても、病院理念である患者さんとの信頼関係をもとに安心と最善の医療を提供できる病院を目指し、通院が困難な患者さん宅への訪問診療などの拡充を含め、これからも地域の皆様に信頼される病院となれるよう努力を続けてまいります。そのためにこれからも皆様のご理解とご協力が重要と考えております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 当院医師が講演しました

### 「地域医療を守る会」(主催 山田町、山田の地域医療を守る会)

11月14日山田町保健センターにて「地域医療を守る会」講演会と懇談会が開催され、当院の阿部薫院長が「皆で守ろう地域医療」と題して講演しました。講演では、診療状況等を説明したほか、「人口減少が進む中、地域医療を持続して提供するためにも、町民ひとりひとりが意識して行動することが大切です。」と話し、参加者は地域医療の重要性を再認識していました。講演後には懇談会も行われ、山田病院への意見や要望をきくことができ、大変有意義な会となりました。

### 「介護サービス事業者研修会」(主催 山田町)

12月11日に当院の工藤銀河医師が講壇しました。在宅サービスを受ける高齢者やその家族の問題への理解を深めることを目的に、介護サービス事業者の方を対象に研修会を行いました。特に「アルコール問題」への関わり方について事例紹介も交えながら話しました。

アルコール問題はもはや避けては通れない社会問題です。高齢者の割合が増えれば、アルコール問題を抱える高齢者も増えている現状です。同じ目線に立ち、継続して関わっていくことが大切です。困っている高齢者の方を治療につなぐための第一歩が、介護職の皆さんの「気づき」と「対話」であることを理解していただき、病院等と連携して問題解決につなげていくことの大切さを再確認する良い機会となりました。



### 「糖尿病予防、重症化、合併症予防講演会」(主催 山田町)

12月13日に開催された、山田町健康増進事業「糖尿病予防、重症化・合併症予防講座」に、当院の工藤銀河医師が講壇しました。「糖尿病について正しく知ろう!」と「どうせ予防するなら楽しくわかりやすくやろう!」をテーマに講演会をおこないました。糖尿病にならないために具体的な「食事」「運動」「節酒と禁酒」「毎年のけんしん」の大切さを説明し糖尿病治療についても医師としてわかりやすく説明しました。参加されたみなさまは、ユーモアを交えたお話しに終始和やかな雰囲気傾聴されていました。偏見がなくなり、正しい糖尿病の知識が得られる講演となりました。

# たばこことさよならするために

たばこは、がんなど多くの病気の原因となります。最近では、飛行機・電車・タクシー・病院など公共機関においても、禁煙の動きがみられます。でも、なかなかやめられないのがたばこです。当院では、「たばこをやめたい」と思っている方をバックアップします。ぜひ禁煙治療を利用して上手にたばこことさよならしましょう。

## 受動喫煙について

喫煙者が吐き出した「呼出煙」とたばこから立ち上がる「副流煙」にも、多くの有害物質が含まれています。煙に含まれる発がん性物質などの有害成分は、喫煙者が直接吸い込む主流煙より副流煙に多く含まれるものがあり、受動喫煙(二次喫煙)による健康への影響は深刻です。



### 受動喫煙

副流煙や呼出煙を吸い込むこと

#### 受動喫煙との関係が確実な病気

脳卒中  
虚血性心疾患  
肺がん  
乳幼児突然死症候群

#### 受動喫煙との関係する可能性がある病気

成人

鼻腔・副鼻腔がん 乳がん  
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)  
喘息の発症・重症化

胎児  
小児

低出生体重 胎児発育不全  
喘息の発症・重症化 中耳疾患、  
う歯(虫歯) 呼吸機能低下

受動喫煙によって1年間に  
奪われたと推計される命

**1万5千人**【男性5千人  
女性1万人】

## 禁煙による健康への効果

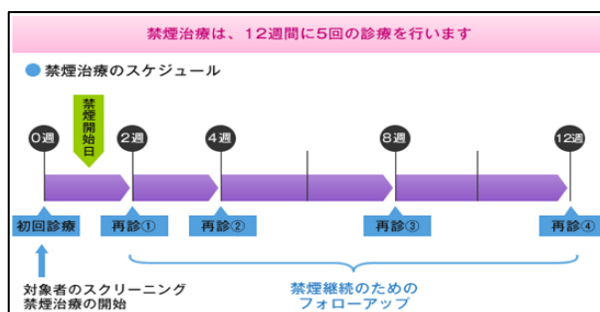
禁煙には、健康上のメリットが多くあります。短いものでは、禁煙してから20分以内に健康上の好ましい変化が現れます。また、長期的な健康被害の可能性も大幅に下がります。

### すべての喫煙者にもたらされる禁煙の効果

禁煙してからの経過時間	健康上の好ましい変化
20分以内	心拍数と血圧が低下する
12時間	血中一酸化炭素値が低下し正常値になる
2~12週間	血液循環が改善し肺機能が高まる
1~9か月	咳や息切れが減る
1年	冠動脈性心疾患のリスクが喫煙者の半分に低下する
5年	禁煙後5~15年で脳卒中のリスクが非喫煙者と同じになる
10年	肺がんのリスクが喫煙者に比べて約半分に低下し、口腔、咽喉頭、食道、膀胱、子宮頸部、膵臓がんのリスクも低下する
15年	冠動脈性心疾患のリスクが非喫煙者と同じになる

## 禁煙治療の流れ

診療回数は5回です。禁煙に対する評価と、禁煙治療薬等を使用し段階的に治療します。投薬は、ニコチン依存度に合わせて行います。費用は、健康保険適用・3割負担の方で約1万円弱(5回分)とその他薬代が別途かかります。



禁煙外来(受付時間) 月曜日・水曜日 14時00分から16時00分 ※予約が必要です

お問合せ先

岩手県立山田病院看護なんでも相談 ☎0193-82-2111

# 1月診療日程表

曜日 診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
					1		2		3	
内科					休診		休診		休診	
総合診療科					休診		休診		休診	
外科					休診		休診		休診	
眼科					休診		休診		休診	
整形外科					休診		休診		休診	
	6		7		8		9		10	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○									
整形外科		○								
	13		14		15		16		17	
内科	休診		○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	休診				○	○	○	○	○	○
外科	休診		○	○		○	○		○	○
眼科	休診								○	
整形外科	休診									
小児科	休診		○	○	○					
	20		21		22		23		24	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
眼科	○									
整形外科		○								
小児科	○		○	○	○					
	27		28		29		30		31	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○		○	○	○	○	○
眼科	○								○	
整形外科		○								

# 2月診療日程表

曜日 診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	3		4		5		6		7	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○		○	○
眼科	○								○	
整形外科		○								
	10		11		12		13		14	
内科	○	○	休診		○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	休診		○	○	○	○	○	○
外科	○	○	休診			○	○	○	○	○
眼科	○		休診							
整形外科		○	休診							
	17		18		19		20		21	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○			○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
眼科	○								○	
整形外科		○								
小児科	○		○	○	○					
	24		25		26		27		28	
内科	休診		○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	休診		○	○	○	○	○	○	○	○
外科	休診		○	○		○	○	○	○	○
眼科	休診									
整形外科	休診									
小児科	休診		○	○	○					

## 編集後記

2024年は能登半島地震の発生から始まり、自然災害の多い一年になりました。天災には勝てないと言われてますが、災害被害を減らすことはできると言われています。自分でできること、家族でできること、身近にいる人と力を合わせてできることなど被害を少しでも減らす取り組みを考え、減災に取り組んでみましょう。2025年は、災害の少ない、穏やかな一年になることを祈るばかりです。

## 外来診療受付手順

令和6年12月2日以降は、現行の健康保険証の発行は停止し、マイナンバーカードを健康保険証として利用する仕組みに一本化されました。現行の健康保険証は最長1年間使用できます。

### マイナンバーカードを使用する際の受付方法

#### 予約の方



- 各診療科受付箱に入れるもの
- ・診察券
  - ・予約券
  - ・医療費受給者証(対象者)
  - ・医療費助成給付申請書(対象)

#### 予約外の方



- 申込書を記入し  
総合窓口で受付する  
(診察券・受給者証をお)

- ・マイナンバーカードを顔認証付カードリーダーに入れる
- ・本人確認
- ・情報提供するか同意の確認



- 受付番号を総合窓口から受け取り  
各診療科前でお待ちください

